

第3回宇都宮市大谷地域 観光交通対策推進会議

【概要】

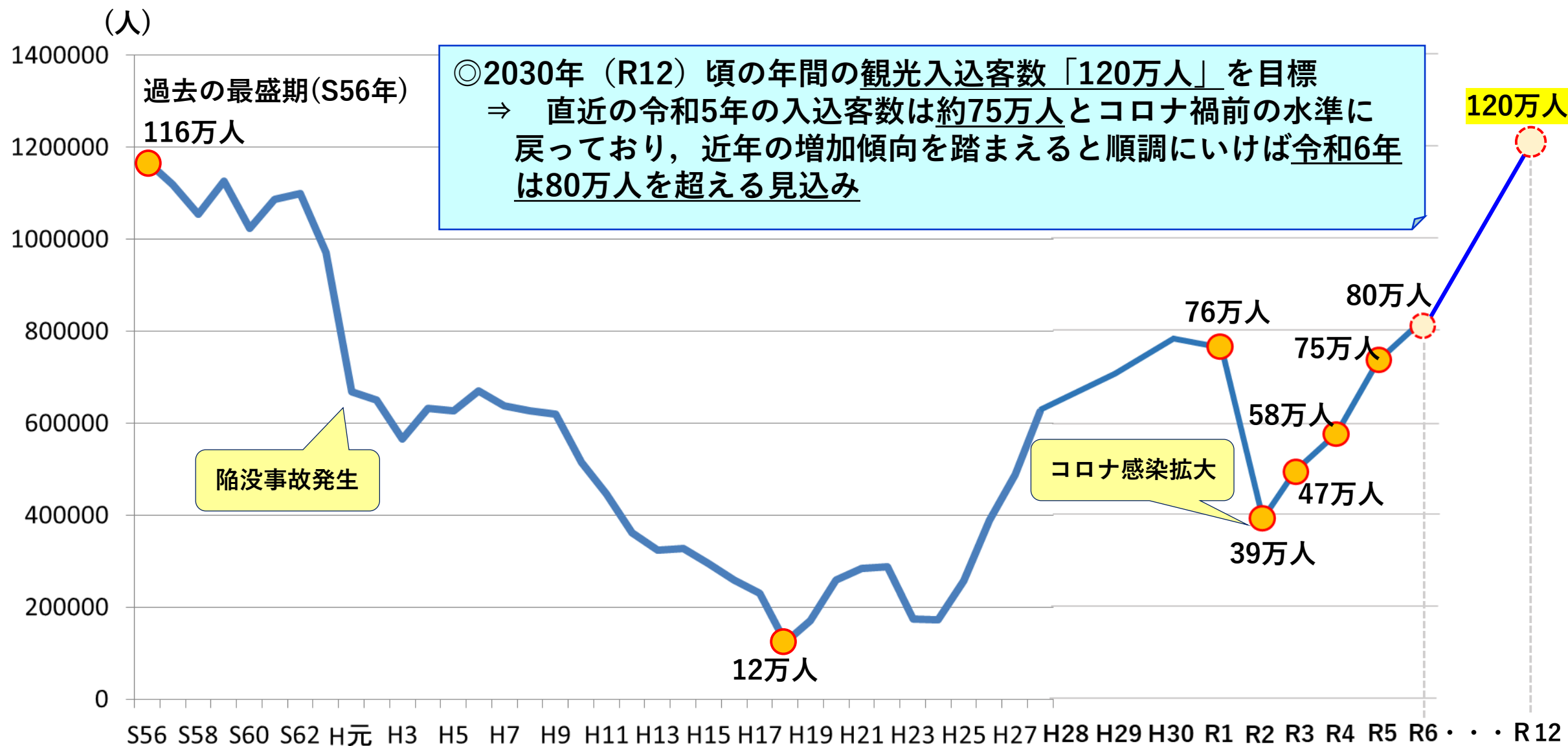
令和6年度の観光交通推進事業の実施内容について報告するもの

令和6年4月19日

宇都宮市 魅力創造部 観光MICE推進課 大谷振興室

1. 大谷地域の観光入込客数の推移
2. 大谷地域における交通対策の進め方について
3. 令和6年度 of 取組の方向性について
4. 検証したい内容について
5. 令和6年度の実施内容について

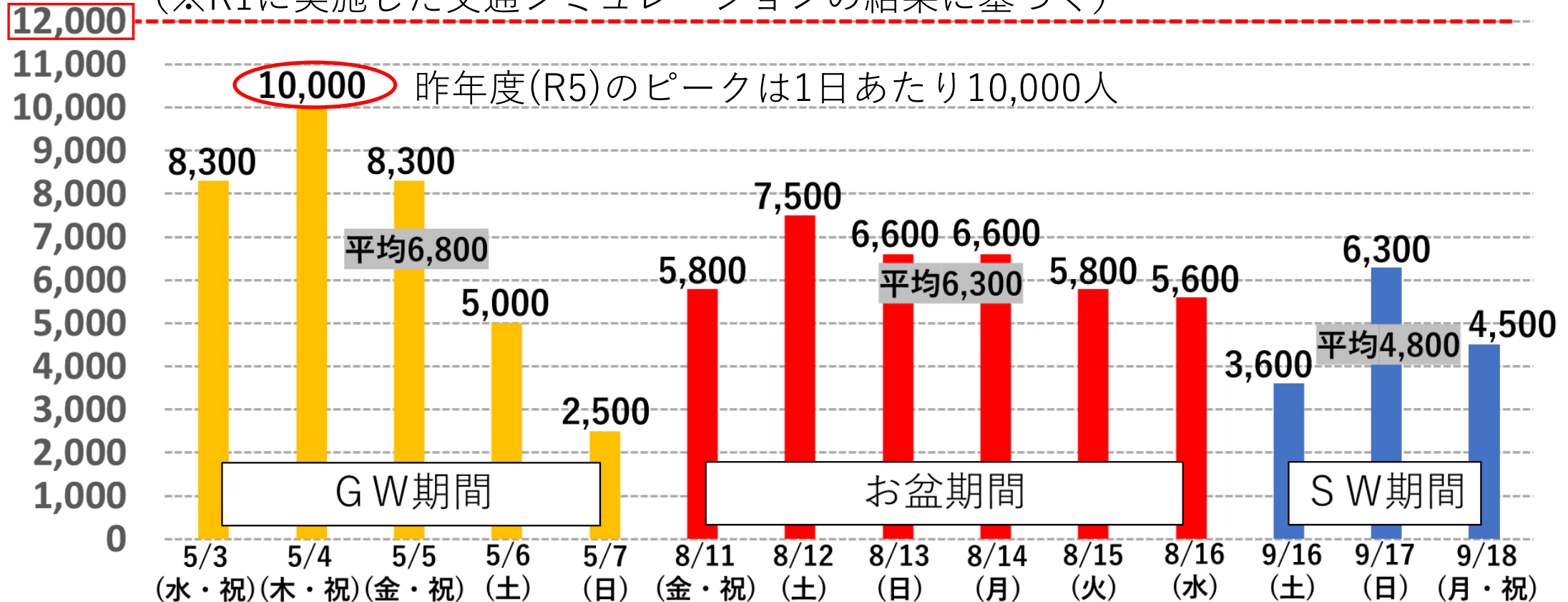
1. 大谷地域の観光入込客数の推移



1. 大谷地域の観光入込客数の推移

◎昨年度(R5)の大型連休における観光入込客数の推計 ※観光施設への聞き取りを基に推計

地域内の既存駐車場での受入許容量は、**1日あたり約12,000人**
(※R1に実施した交通シミュレーションの結果に基づく)



⇒これまでの推計によると、**令和6年度の大型連休のピーク日には、1日あたり約12,000人程の来訪が予想され、渋滞緩和と快適な周遊環境の向上に向けた取組が求められている。**

2. 大谷地域における交通対策の進め方について

第1・2回会議資料を
ベースに時点修正

宮市
niya City

期間	令和1～4年度	直近：令和5～6年度	短期：令和7～9年度	中期：令和10～12年頃
観光入込客数	—	年間 80 万人に対応	年間 100 万人に対応	年間 120 万人に対応
達成イメージ	《ステップ①》 →即効性のあるソフト対策により、大型連休における交通混雑を緩和 (主な取組) 交通誘導・混雑情報発信・グリスロ運行	《ステップ②》 →地域内の移動環境向上、ハード整備による交通容量拡大 (主な取組) グリスロ運行・案内機能の充実・交差点改良・歩行環境の向上	《ステップ③》 →地域内を徒歩・自転車・グリスロ等で周遊する観光スタイルへ転換 (主な取組) パーク&バスライド・歩道整備・域内移動手段の充実	《ステップ④》 →観光エリアの拡大に伴う導線の整備 →広域連携による観光需要の分散化等 (主な取組) 各交通モード間の連携強化・広域エリアマネジメント
道路 (域外からのアクセス向上)	・県道 70 号宇都宮今市線大谷交差点の改良【県】	・宇都宮今市線の改良【県】 ・通過交通の迂回を誘導する看板の設置	・宇都宮今市線の改良【県】 ・(仮称) 大谷 SIC の供用開始 (R7 目途 ※用地取得が順調に進んだ場合) ・(仮称) 大谷 SIC からの案内誘導看板の設置	・宇都宮今市線の改良【県】 ・エネルギーコアにおける周遊性の向上 (短期～)
道路 (域内の交通円滑化)	・市道 632・635 号線における歩行、自転車等走行空間の確保(第1期) (～直近) ・観音橋周辺の改良 (拡幅) (～直近)	・大谷寺前交差点の改良 (ラウンドアバウト) ・大谷コネクト前の横断対策 (路面標示)	・観光の裏道ルートにおける周遊性の向上 (～中期) ・市道 632・635 号線における歩行、自転車等走行空間の確保(第2期)	・市道 632・635 号線から拠点施設への歩行、自転車等走行空間の連続性を確保【県道区間】
駐車場	・満空情報の発信及び誘導方法の改善 ・臨時駐車場(地域内・フリンジ)の確保	・効率的な情報発信、誘導方法の検討 ・臨時駐車場(フリンジ・地域外)の検証	・臨時駐車場(地域外)の確保(継続)	・臨時駐車場(地域外)の確保(継続)
河川	・姿川の改修計画【県】	・姿川上流への調整池整備【県】	・管理用通路を活用した歩行、自転車等走行空間の確保 (～中期)	・姿川の河川改修完了 (R12 予定)
道路沿線	・街並み景観の改善 (継続) ・大谷公園参道の改修	・大谷コネクトの整備 (R5.11 供用開始) ・観光客向けの案内看板の充実 (～短期) ・歩行者滞留スペースの確保 (～短期)	・大谷公園の再整備	・景観公園の再整備
公共交通 2次交通	・観光型 MaaS 等の社会実験の実施 ・路線バスの上限運賃制度の導入 ・グリスロの試行	・路線バスの充実 ・フリー乗車券等検討・導入 ・バス待合環境の整備 ・シェアリングサービス等の検証 ・グリスロ運行体制強化等	・シェアリングサービスの導入 ・東武鹿沼駅、JR 鹿沼駅との連携強化 ・域内移動手段の提供(グリスロ運行の継続)	・県内観光地との連携強化 ・域内移動手段の提供(グリスロ運行等の継続)
交通規制			・大型連休のピーク時間帯における観光の中心エリア (センターコア) への自動車流入規制の検証	・大型連休のピーク時間帯における観光の中心エリア (センターコア) への自動車流入規制
パークアンドバスライド	・パークアンドバスライドの試行	・パークアンドバスライドの有効な手法の検証	・大型連休におけるパークアンドバスライドの実施	・パークアンドバスライドの実施
情報発信	・混雑ピーク日分散化 (継続) ・社会実験等の取組の発信	・地域内における観光需要の分散化 (継続)	・周辺観光施設と連携した観光需要の分散化 (継続)	・周辺観光施設等と連携した観光需要の分散化 (継続)

網掛け
二重線
下線
太字
赤字
R6
観光交通推進事業の取組

今後実施を検討していくもの

3. 令和6年度の取組の方向性について

第2回会議にて協議済



宇都宮市
Utsunomiya City

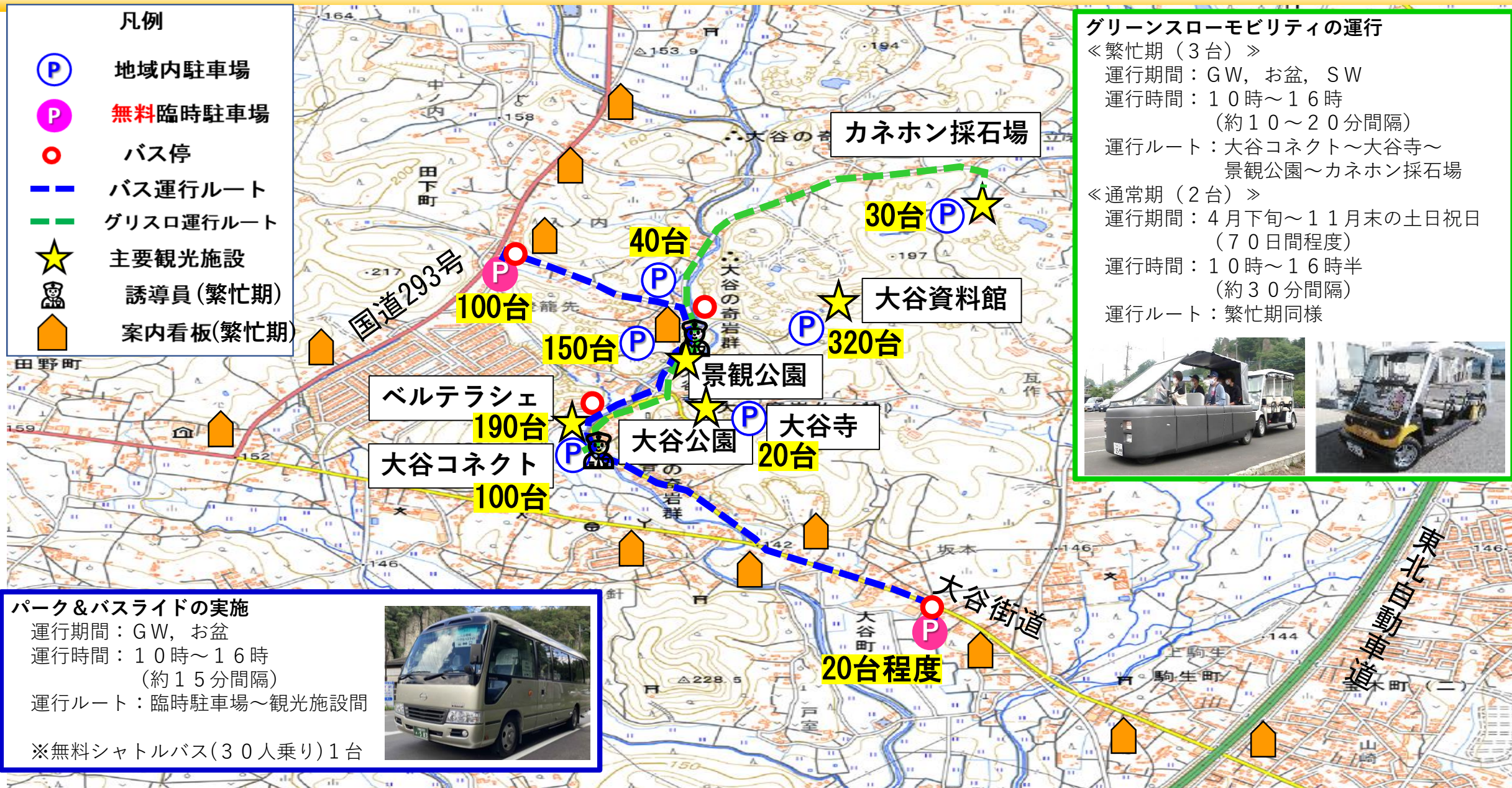
課題① パーク＆バス ライドの改善	(継続) パーク＆バスライドの定着に向けた改善 ➤大谷コネクトの供用開始やその他の道路改良など，大谷を取り巻く環境の変化を踏まえながら，臨時駐車場の配置や運行ルート・便数の見直しのほか，パーク＆バスライドの利用のみならず，大谷地域内の移動手段としての活用を図る。
課題② 公共交通の 利用促進	(拡充) 路線バス等公共交通の利用促進 ➤公共交通と地域内の移動手段との連動性を確保する。 ※セット券の販売等 ➤バス停への屋根・ベンチの設置など，待合環境の向上を図る。
課題③ 観光・周遊 機能の充実	(継続) 見る・食べる・遊ぶといった観光・周遊を支える機能の充実 ➤飲食・物販などの立地誘導，魅力ある観光景観の形成，安心安全な歩行空間・休憩スペースの確保等に取り組んでいく。
課題④ 拠点性の向上	(新規) 大谷コネクトを中心とした観光案内・周遊機能の強化 ➤来訪者にまずは大谷コネクトを訪れていただくための情報発信や安全・快適な周遊ルートを案内する看板等のサインを充実していく。 ➤大谷コネクトを発着点とした様々な移動手段の充実を図る。

4. 検証したい内容について

取組	検証内容	調査方法
課題① パーク＆バス ライドの改善	・利便性の向上による利用者数増加の効果 ・地域内の回遊促進の効果	・乗降者数の集計 ・アンケート調査
課題② 公共交通の 利用促進	・セット券の販売などによる公共交通の利用率増加の効果	・セット券の販売数 ・アンケート調査
課題③ 観光・周遊 機能の充実	・新たな観光コンテンツの創出や休憩スペースの確保などによる周遊・滞在促進の効果	・人流分析 ・アンケート調査
課題④ 拠点性の向上	・看板やSNS等の情報発信による大谷コネクトへの誘導や観光施設への案内の効果	・アンケート調査

※このほか地域内の主要な交差点等における交通量調査を実施予定

5. 令和6年度の実施内容について（全体イメージ）



5. 令和6年度の実施内容について

①パーク＆バスライドの定着に向けた改善（利便性の向上）

凡例

 無料臨時駐車場
 バス停
 バス運行ルート
 主要観光施設

改善①

カネホン採石場

【改善①】

臨時駐車場の配置を大谷地域の
センターコア近くへ見直す。

【改善②】

多くの人來訪する大谷コネクト内にバス停を配置する。

【改善③】

バスを地域内の施設間の移動にも活用していただけるようPR等を行う。

【改善④】

バスの中で大谷地域をPRする資料の配布や映像を見られるQRコードを掲載。

パーク&バスライドの実施

運行期間：GW、お盆
運行時間：10時～16時
（約15分間隔）
運行ルート：臨時駐車場～観光施設間

※無料シャトルバス(30人乗り)1台



20台程度

改善④

改善①

5. 令和6年度の実施内容について

②路線バス等公共交通の利用促進



グリーンスローモビリティの運行

《繁忙期（3台）》

運行期間：GW, お盆, SW

運行時間：10時～16時

(約 10 ~ 20 分間隔)

運行ルート：大谷コネクト～大谷寺～
景観公園～カネホン採石場

《通常期（2台）》

運行期間：4月下旬～11月末の土日祝日

(70日間程度)

運行時間：10時～16時半

(約 30 分間隔)

運行ルート：繁忙期同様



【改善①】 (GW・お盆・SW)

路線バス等との地域内のグリスロとの連動性を確保する。

➡路線バスのセット券「大谷観光一日乗車券」をお持ちの方はグリスロに無料で乗車可能

5. 令和6年度の実施内容について

③観光・周遊を支える機能の充実

【民間の新規参入の動き①】

➡大谷石採取場跡地の空間を活用
した体験型アート作品の展示
(R6.4～)

【民間の新規参入の動き②】

➡旧山本園（温浴施設）をリノベーションしたアートと食を楽しむ施設の開業に向け準備中
（R6年度内の開業予定）

【道路改良（継続実施中）】

歩行空間の確保等に向け、市道
632・635号線の道路改良を
実施中。(R7.3の供用開始を目途)
➡観音橋の架け替え(拡幅)
➡観光地のシンボルとして大谷寺
前交差点のラウンドアバウト化

【バス待合環境の向上（再掲）】

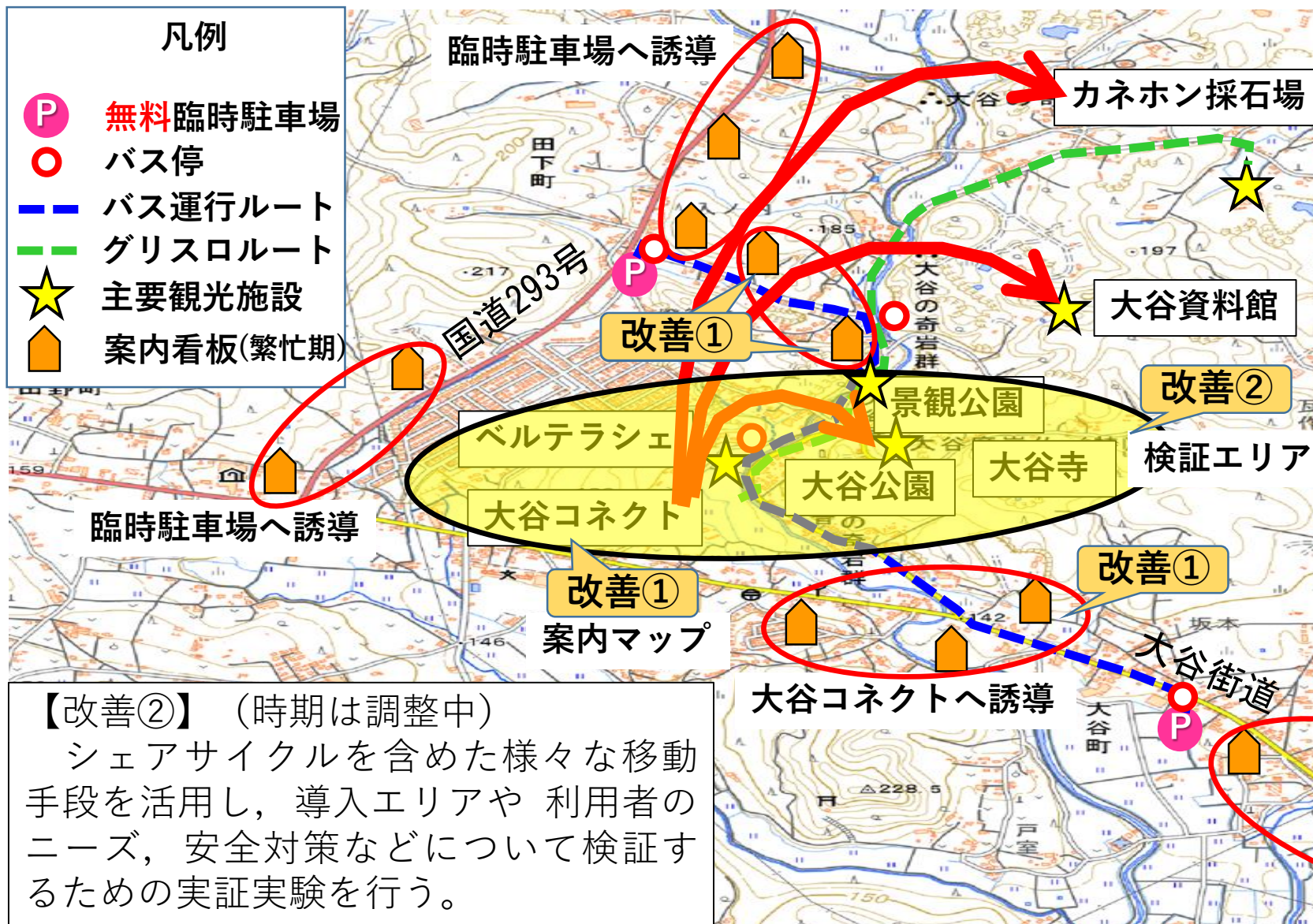
バス利用者の利便性を向上し、来訪者の休憩場所としても活用していただけるよう、利用者の多い「大谷観音前」バス停へ上屋・ベンチの設置を検討する。

ベルテラシエ

大谷コネクト

5. 令和6年度の実施内容について

④大谷コネクトを中心とした観光案内・周遊機能の強化



「大谷コネクト」を起点とした回遊パターンが最も地域全体での周遊や滞在に繋がっている
(R5の検証結果に基づく) ことから、来訪者をまずは大谷コネクトへ誘導し、そこから様々な移動手段で地域を周遊する観光スタイルを確立する。

【改善①】

- ・大谷コネクトへ誘導するとともに、主要な観光施設まで案内するための看板を設置する。
- ・目的地までの「距離・時間」や「周遊ルート」などを示した案内マップを大谷コネクトへ設置する。

【改善②】（時期は調整中）

シェアサイクルを含めた様々な移動手段を活用し、導入エリアや利用者のニーズ、安全対策などについて検証するための実証実験を行う。